

令和元年度「吉岡地区におけるご意見及びご要望」への対応進捗状況

令和元年度ワークショップでのご意見・ご要望	令和元年度 市からの回答(2019.10月現在)	担当課	令和2年度 進捗状況(2020.8月現在)
<p>大明神川の庄内橋の下にある水道管が何かの橋の所に、流木などが詰まりフローして、両対岸の土手に水が当たっていた。 このような状態は、以前小松地区において、橋桁に流木が詰まり大災害につながったことと同じような状態にならないか。 市から県に確認してもらいたい。</p>	<p>承って持ちかえり、確認します。</p>	<p>港湾河川課 0897-52-1543</p>	<p>庄内橋の下流に架かる施設は、道前平野土地改良区が管理する農業用水管橋ですが、流木等が詰まる要因として、大明神川の土砂の堆積や草木の繁茂が考えられます。 このため、県に問題解消を要望したところ、「現在は中流部で堆積土砂等の撤去工事を実施しているが、今後は上流部においても、緊急性の高い区間の土砂等を撤去する予定である」との回答がありました。</p>
<p>山には砂防ダムが築かれてはいるが、どこも満杯であり、少しの雨でも土砂が流れてきて、集落入口の取込河川が埋まってしまい、水がうまく流れないので雨のあと定期的に土砂の除去をしている。 少しでも怠ると地区内の水路は土砂で埋まり、水路として使えなくなる。地区内は暗渠化してるので土砂除去は難しく、危険が及ぶことにもなりかねない。</p>	<p>砂防ダムについては、所管する県東予地方局建設部に問い合わせたところ「広岡地区の砂防ダム(砂防えん堤)は、背後が土砂で埋まった後も土砂調整機能がありますので、今のところ土砂を撤去する予定はありませんが、定期的に施設の点検を実施しており、異常な堆砂や下流域に影響を及ぼす恐れがあると判断した場合は、撤去を含めた対応を検討します。」との回答がありました。</p>	<p>港湾河川課 0897-52-1543</p>	<p>県が砂防ダムの背後を調査したところ、満砂の状況が確認されたことから、予算を要望するとのこと。</p>
	<p>治山ダムについては森林の維持・造成を図ることを目的に、主に川底に土砂が堆積している箇所や、河岸が浸食され山崩れが発生しやすい箇所などに設置されます。 ダムに土砂を堆積させ荒廃地の傾斜を緩くすることで、渓流による山腹などの浸食を防ぎ森林の崩壊を防いでいます。 このため、治山ダムについては、土砂の撤去は行っていません。</p>	<p>林業振興課 0897-52-1504</p>	<p>渓流調査を行った結果、支流の渓流荒廃により、本流へ土砂が流出していることから、県の治山事業によりR3年度以降に、支流を中心に、谷止工・土留工の設置を計画していただいているところです。</p>
<p>池の下側には民家もあり住民は、大雨時にはいつも心配して昼夜を問わず点検、土砂あげをしているのが現状である。</p>	<p>蓮池の洪水吐き水路への土砂の逆流については、管理者である土地改良区とも協議しながら改善策を検討していきます。</p>	<p>農林土木課 0897-52-1524</p>	<p>蓮池の洪水吐きの改修については、令和2年6月補正でため池豪雨緊急対策事業として予算化しました。 今後自治会及び土地改良区と協議を行ないながら、改修計画を立て、改修工事を実施していきます。</p>